



Q-Series
Sahara

Input-driven compression topology

序文 (Preface)

Sahara は、迅速なワークフローと直感的な結果を実現するために設計された、シンプルで音楽的に反応するフィードフォワード・コンプレッサーです。これは、焦点を絞った手頃なツールを揃える Q シリーズの最初のリリースです。その中心には、高く評価されている P19 Igloo から採用されたカスタム「Recoil」コンプレッション回路があり、ここではシンプルさと即応性を重視して再調整されています。Sahara は、複数のパラメータを操作したり、ミリ秒単位の数値を解釈することなく、素早く行動し、感覚でミックスしなければならない瞬間のために作られました。

クラシックな入力駆動型のコンプレッション・トポロジーを採用し、Sahara は固定された内部スレッシュホールドでコンプレッションをトリガーします。つまり、ダイナミクスは入力をどれだけ強く駆動するかによって形成されます — まるでヴィンテージのアナログ機材のように。その挙動は数値ではなく音楽的にスケーリングされており、固定されたアタックタイムやリリースタイムはなく、素材とともに呼吸するプログラム依存のレスポンスを示します。しきい値の調整も、複雑なミリ秒計算も、余計な操作も必要なく、信号を Sahara に送り込み、レシオを設定するだけで動作します。

超低 CPU 負荷で設計された Sahara は、真のチャンネル・コンプレッサーとして開発されており、セッションごとに何百ものインスタンスを難なく実行できます。何でもできるわけではありません — コンプレッションだけを行い、それを美しく実現します。ヴィンテージ・ダイナミクス処理の本質を、迅速かつモダンな形で届けます。その名の由来の通り、Sahara は触れる音の風景を形作り、滑らかで流れるような輪郭をサウンドの山と谷にもたらしめます。

Ziad Sidawi — オーディオ機器デザイナー & CEO
Pulsar Modular

ピーク入力レベル(dBFS)。

リアルタイム・ゲインリダクション LED ディスプレイ

短いピークホールド付きでゲインリダクションを dB 表示し、正確な読み取りを可能にします。

黒い針: 生の入力信号(RMS)

赤い針: 出力信号(RMS)

ピーク出力レベル(dBFS)。

カーブした白いメーター: RAW入力 + Inputノブのゲインを表示

縦メーター: 入出力信号のリアルタイムピークレベル

コンプレッション量とニーを制御します。緩やか = スムーズなレベリング、強め = よりパンチの効いたコントロール

RMS 入出力レベル (dBFS)

ピークがどれだけ速くコンプレッションされるかを制御します。速い = タイト、遅い = パンチ感

コンプレッションがどれだけ速く解除されるかを制御します。Fast = より反動的、Slow = よりスムーズ

入力レベルを内部スレッショルドまで押し上げます。SHIFTキーを押しながら出力ノブで補正します。

圧縮信号とドライ信号をブレンドします。

検出回路用の HPF: 低周波(LF)によるトリガーを軽減

コンプレッション後のレベルを調整して、ゲインリダクションを補償します。



Input

信号を Recoil コンプレッション回路にどれだけ強く送り込むかを制御します。Input を上げるとコンプレッション量が直接増加します。

「コンプレッションなし」を望むユーザーは、入力レベルを下げるだけで簡単に実現できます。これは Sahara がそのように設計されていることに気づけば直感的に理解できます。

Ratio

コンプレッション比を設定し、同時にニー曲線を動的に調整します。低い比率ではよりスムーズで透明感のあるコントロール(ソフトニー)になり、高い比率ではタイトで力強いコンプレッション(ハードニー)になります。

Output

コンプレッション後のレベルを調整します。ゲインリダクションを補償し、ドライ信号と出力音量を揃えるために使用します。

Sidechain HPF

コンプレッサーの検出回路に送られる信号に段階的な HPF を適用します。これにより、低周波成分が不要なゲインリダクションを引き起こすのを防ぎます。パンチを保ち、ポンピングを避けるのに有効です。

Mix

圧縮された信号とドライ(未処理の)信号を、自然なラウドネス感を得られる Sin 6 dB ミックスルールでブレンドします。0% Dry では圧縮信号のみ、100% Dry では生の入力信号のみが聞こえます。パラレルコンプレッションや繊細なダイナミクス強調に有効です。

Attack: コンプレッサーが入力ピークにどれだけ速く反応するかを制御します。速いAttack 設定ではトランジェントをより積極的に抑え、遅いAttack 設定ではトランジェントを通過させ、よりパンチのあるサウンドを生み出します。

Release: 信号がスレッシュホールドを下回った後、コンプレッサーがどれだけ速くコンプレッションを解除するかを決定します。Sahara の Release はプログラム依存型で、高い値(遅い設定)ではコンプレッションが長く残りレベルを滑らかにし、低い値(速い設定)ではより速く解放され、コンプレッションがより反動的になります。

GR メーター (LEDs)

10 セグメントの LED メーター(+1 つの「オフ」状態)が最大-20 dB のゲインリダクションを表示します。スケールは0~6 dB の範囲の解像度を強調し、一般的な使用時に音楽的なフィードバックを提供します。

ゲインリダクション(GR) メーターは 10 個の LED 表示を使用して、リアルタイムのコンプレッション量を表示します。別の値ウィンドウでは現在のゲインリダクションをB 単位で表示し、ピーク値を短時間保持した後にリアルタイムの追従に戻ります。これにより、トランジェントコンプレッションを正確に読み取ることができます。LED メーターは即座に更新され、即時の視覚的なフィードバックを提供し、値ウィンドウは短いピークホールドによってモニタリングを容易にします。

A/B プリセットスロット 同じセッション内で2 つの異なるプリセットまたはパラメータ設定を保存して比較できます。これにより、バリエーションを素早く切り替えたり、設定を A から B または B から A にコピーしてさらに調整することが可能です。これらは一時的なプリセット保持用であり、プリセット内には保存されません。

Sahara は入力駆動型コンプレッサーであるため、Attack と Release の両パラメータは固定時間ではなく「音楽的」に動作し、信号に応じて動的に適応します。



  バイパスボタンを使うと、処理されていないオーディオ信号がそのまま通過します。

  Dry Polarity は、処理されていないドライオーディオ信号を反転させます。

  外部サイドチェインボタンを使うと、コンプレッション検出回路に送られる信号として外部ソースを利用できます。外部ルーティングのオプションや手順については、お使いの DAW のマニュアルを参照してください。

  SUB ボタンは、20 Hz に固定されたプラグイン内部のハイパスフィルター (HPF) をバイパスします。これによりカットオフ以下の周波数が減衰するのを防ぎ、低域のエネルギーに寄与するサブベース成分を保持します。エレクトロニック・ミュージック、ヒップホップ、ダブステップなどのジャンルで不可欠な力強いベース基盤を維持するために、この機能を活用してください。

 Hammer 回路はオーディオの周囲にハロー効果を与えます。これは周波数依存型であり、ボイス帯域に最適化されています。

  オーバーサンプリングのオプションは信号全体に適用されます。OS がオフの場合、Sahara はレイテンシーなしで動作します。

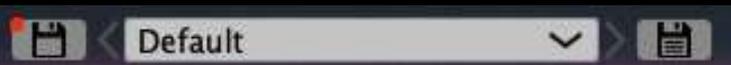
 VNT (ヴェンテージ) モードはホストのサンプルレートの 2 倍で動作し、高域にスムーズなフィルターを適用してクラシックなロールオフ特性を生み出します。エイリアシング信号はあえてフィルタリングせずに残し、ヴェンテージ的な滑らかさとモダンな非高調波歪みを融合させます。

 INT (インテリジェント) モードはホストのサンプルレートの 2 倍で動作し、全周波数スペクトルをスキャンしてエイリアシング信号を減衰させます。この高度なフィルタリングは、信号の周波数と強度に大きく依存します。

 HD モードでは、44.1 kHz および 48 kHz で 8 倍、88.2 kHz および 96 kHz で 4 倍、192 kHz で 2 倍のオーバーサンプリングを行います。

A B →B

A/B は一時的な保存を可能にし(プリセット内には保存されません)、AとBの素早い比較を容易にします。A|Bエリアをクリックすると2つの間を切り替えられます(マウスを動かす必要はありません)。矢印ボタンを使うと、アクティブな側を非アクティブな側にコピーできます。プリセットは比較のためにAまたはBのいずれかのプレースホルダーに読み込むこともできます。



プリセットブラウザーを使用して、プリセットを閲覧、読み込み、保存します。左側の保存アイコンをクリックすると現在のプリセットを上書き保存でき、右側の保存アイコンをクリックすると新しいプリセットを作成できます。左側の保存アイコンに赤い点が表示されている場合は、そのプリセットが変更されていることを示します。

変更されたファクトリープリセットは、ソフトウェアをアップデートすると上書きされます。ただし、インストール時に「プリセットをインストール」のオプションをオフにした場合は保持されます。提供されているプリセット名とは異なる名前で作成されたユーザー作成のプリセットは、置き換えや削除の対象にはなりません。



About: バージョン番号と有効期限を表示します。

License Status: プラグインの認証／認証解除を行います。

User Guide: ユーザーガイドを開きます。

Set Default Size: このグローバル設定により、現在の GUI ウィンドウサイズが新しいインスタンスのデフォルトとして適用されます。

Sahara Tips

1. レベルを揃えてプリセットを試聴

SHIFT を押しながら INPUT を調整し、入力と出力の針が重なるまで合わせます。これにより、プリセットを意図された通りに確認できます。

2. Hammer アイコンを理解する

これはボーカルに最適化された周波数依存型の回路を表しています。他の楽器でも効果を発揮するので、ぜひ試してみてください。

3. 固定スレッショルドに注意

プラグインを挿入した際にコンプレッションが強すぎる場合は、SHIFT を押しながら INPUT ノブを下げます。OUTPUT ノブでレベル変化を補正し、ミックスバランスを維持してください。

4. パラレルコンプレッションを簡単に

Sahara は最大 40:1 の非常に高いコンプレッション比を実現できるピークコンプレッサーです。MIX ノブを使って圧縮された信号とドライ信号をブレンドし、効果的なパラレルコンプレッションを行いましょう。

5. Sidechain HPF を活用する

コンプレッションの動作に大きな影響を与えます。特に低域エネルギーを抑えたり、ベースの強い素材でコンプレッサーをより音楽的に動作させたい場合に有効です。

Sahara Tricks

1. 高いレシオによる微妙な効果

20:1 と 40:1 の違いは微妙ですが、サウンドに知覚できる「硬さ」を加えます。

2. カスタム・サイドチェイン・フィルタリング

高度なコントロールのために External SC アイコンを使ってカスタムサイドチェインをルーティングします。これにより、コンプレッサーをトリガーする信号を創造的に形成できます。

3. プログラム依存の Attack & Release

Sahara の Attack と Release はプログラム依存で、ソース全体に自然な挙動を与えます。More/Less (速い/遅い) の範囲は広く、ダイナミクスを創造的かつ音楽的に形成することが可能です。

4. ダイナミックコンプレッションのための INPUT オートメーション

INPUT をオートメーションしてダイナミックコンプレッションを実現します。SHIFT を押しながら INPUT ノブを時間経過に合わせて調整し、Sahara が信号をどれだけ強く圧縮するかを変化させます。その際、OUTPUT ノブで出力レベルを補償します。これにより固定スレッシュホールドをえることなく「ゲインライド」効果を得られます。

5. 追加のトリック

- MIX をクリエイティブに使用。単にパラレルコンプレッションするだけでなく、微妙にブレンドしてダイナミクスを保持しつつパンチを加えてみましょう。
- レイヤリング: Sahara はバスやグループでも効果的に機能します。ドラムやボーカルをパラレルコンプレッションしてミックスをまとめるのも良い方法です。
- ビジュアルフィードバック: メーターの針をよく観察してください。INPUT/OUTPUT を合わせるトリックは、本当のコンプレッション挙動を耳で学ぶのにも役立ちます。

修飾キー (Modifier Keys)

パラメータを一時的にバイパス

CTRL+ALT (Windows) または CMD+OPTION (macOS) + マウスオーバー

- INPUT (デフォルト 0)
- MIX (デフォルト WET)
- S/C HPF (デフォルト OFF)

オプションを切り替え

左クリック = 前へ、右クリック = 戻る

- OS VINT, INTEL, HD

ゲイン補償

SHIFT

- INPUT (OUTPUT ノブで補正)
- OUTPUT (INPUT ノブで補正)

オートメーション用にパラメータを有効化 (Pro Tools のみ)

macOS: Control + Command + Option (^ + ⌘ + ⌥)

Windows: CTRL + ALT + START

ノブ、スライダー、その他のコントロールを微調整

macOS: Control (^) を押しながらクリック & ドラッグ

Windows: CTRL を押しながらクリック & ドラッグ
または、修飾キーなしで右クリック & ドラッグ
コントロールをデフォルト状態に戻す

macOS: Option (⌥) を押しながら左クリック

Windows: ALT を押しながら左クリック
または、修飾キーなしでダブルクリック

プリセットの管理

基本

インストール時に「プリセットをインストール」オプションをオフにしない場合、インストーラーはファクトリープリセットを上書きします。ユーザーが作成したプリセットは変更されません。ファクトリープリセットに加えた変更をアップデート後も保持したい場合は、インストーラー実行時に必ず「プリセットをインストール」オプションをオフにしてください。また、プリセットブラウザー右側にある「名前を付けて保存」オプションを使用して、独自の名前でプリセットを保存することを忘れないでください。

プリセットのバックアップ

プリセットは、OS のファイルマネージャーを使ってバックアップや復元が可能です。個々のプリセットファイル、またはプリセットフォルダー全体をコピー & ペーストして、任意のバックアップ先に保存してください。プリセットフォルダーは以下の場所にあります：

For Windows

'C:\Users\Public\Documents\Pulsar Modular\Q Sahara\Presets'

For macOS

'/Users/Shared/Pulsar Modular/Q Sahara/Presets'

Q Sahara のアンインストール

Windows

- VST3: C:\Program Files\Common Files\VST3\Pulsar Modular にある「Q Sahara.vst3」フォルダーを探して削除します。
- AAX: C:\Program Files\Common Files\Avid\Audio\Plug-Ins\Pulsar Modular にある「Q Sahara.aaxplugin」フォルダーを探して削除します。
- Shared: C:\Users\Public\Documents\Pulsar Modular にある「Q Sahara」フォルダーを探して削除します。このフォルダーにはユーザーガイドとプリセットが含まれています。Pulsar Modular 配下に他のフォルダーが存在しない場合は、このフォルダー全体を削除して構いません。

macOS

- AU: /Library/Audio/Plug-Ins/Components にある「Q Sahara.component」ファイルを探して削除します。
- VST3: /Library/Audio/Plug-Ins/VST3/Pulsar Modular にある「Q Sahara.vst3」ファイルを探して削除します。
- AAX: /Library/Application Support/Avid/Audio/Plug-Ins/Pulsar Modular にある「Q Sahara.aaxplugin」フォルダーを探して削除します。
- Shared: /Users/Shared/Pulsar Modular にある「Q Sahara」フォルダーを探して削除します。このフォルダーにはユーザーガイドとプリセットが含まれています。Pulsar Modular 配下に他のフォルダーが存在しない場合は、このフォルダー全体を削除して構いません。

プラグイン設計: Ziad Sidawi

プラグイン開発: Pulsar Modular Team

GUI 開発: Max Ponomaryov / azzimov GUI design – www.behance.net/azzimov

テスター:

Leo Alvarez Mátyás Dobány Kevin Eagles Simon Pietroni

Gus Granite Matthias Klein Discord community

このユーザーガイドの誤りや不足については、psupport@pulsarmodular.com までご連絡ください。

Copyright 2025, Pulsar Modular LLC

P/N: 71221, Rev. 1.0

Q Sahara is a plugin name owned by Pulsar Modular LLC

制限事項

ユーザーは、Pulsar Modular LLC のオーディオプラグインを、レンタル、リース、配布、再パッケージ（営利・非営利を問わず）の目的で、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、再サンプリング、インパルスレスポンスプロファイルの作成、再録音、デコンパイル、変更、あるいは部分的または全体の改変を行ってはなりません。

AAX および Pro Tools は Avid Technology の商標です。名称およびロゴは許可を得て使用しています。

Audio Units は Apple, Inc. の商標です。

VST は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。

ここに記載されているその他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Pulsar Modular LLC

Georgia, Tbilisi, Saburtalo District, Bakhtrioni Street,

N 22, Apartment N 75

www.pulsarmodular.com